

第5回豊岡地区意見交換会

**「新たな地域コミュニティ」の
実現に向けて**

令和7年1月25日

目次

01 第4回意見交換会の振り返り

02 意見交換会を継続する理由

03 市が推進する「地域コミュニティ協議会」とは —事例紹介— 豊田地域コミュニティ協議会準備委員会

04 「地域コミュニティ協議会」設立に向けて動き出してみませんか？

05 ワークショップ

今日の話し合いのルール

ROPES

R	お互いを尊敬し、尊重すること
O	心を開いて
P	話したくないときは「パス」といっていい
E	共感と興味をもって/ワクワクしながら
S	みんなが安心して話しできるように/自分の気持ちに素直に/思ったことを伝える/ユーモアをもって

01__第4回意見交換会の振り返り

誘い方のコツ

実践できましたか？

1. お互いを知り合い、つながりをつくる
2. 緊急性・背景を伝える
3. 活動に参加してもらえるかをはっきりと聞く
4. 参加を約束してくれたら、仕事と責任をお願いする



参考：COJテキスト

02__意見交換会を継続する理由

① 地域の現状

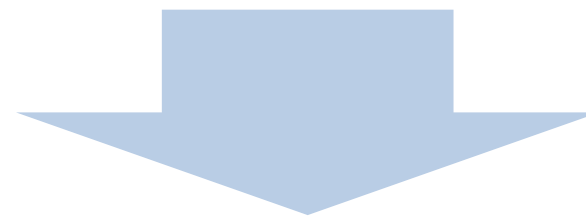
近隣市等への転出超過と人口減少
超高齢社会（高齢化率↑・出生率↓）に移行
単身・核家族世帯の増加

② 地域の課題

地域活動の担い手不足
役員の負担増
コミュニティの希薄化
ライフスタイルや価値観、地域課題の多様化

③ 地域の今後への不安

10年後、20年後私たちのまちはどうなっていくのか？
大規模災害が起こったら助け合える体制はできてるのか？
お祭りなどの伝統文化を継承していけるのか？
子供や高齢者の見守りは誰がやってくれるのか？



**様々な不安を解消し、誰もが将来にわたって安心安全で住みよいまちにするため、
子供から高齢者まで世代を超えた方が集まって対話をする場を設けるために意見交換会を継続**

03__市が推進する「地域コミュニティ協議会」とは

多様化、広域化する課題に継続的に対応するため、地域内で個別に活躍している個人や団体同士が横につながることによって「**連携**」し、地域にとって必要なことを「**話し合い**」、各種団体だけでは対応できない地域の「**課題解決**」に向けて取り組む一体的な活動を推進する仕組みです。



地域コミュニティ協議会の基本的な取り組み

- ・ 地域課題、住民の困りごとを情報共有し、解決に向けてできることから実行
- ・ 地域資源を再確認し、活用について話し合う
- ・ 多様な住民の参加を促す
- ・ 地域内外への情報発信を行う など

例

第1回意見交換会 どんなまちに住みたい？

災害に強いまち

観光資源が充実したまち
若者を呼び込めるまち

コミュニケーションが
とれるまち

第2回意見交換会 地域でできること

防災訓練

イベントを開催することで
外部へのPRをする

各イベントとのコラボ

第3回意見交換会 連携できる団体

消防団＋防災組織

各団体＋商工会

防災士連絡協議会＋行政＋外国籍
の方（横つながりを作る）

地域コミュニティ協議会設立のメリット

- ・ 地域の課題が情報共有できます
- ・ 地域の未来を話し合う機会をつくることができます
- ・ 地域の困りごとを自分たちで解決できます
- ・ 新たな人材の発掘に繋がり、担い手不足が解消できます
- ・ 組織がつながることで、役員の負担軽減に繋がります

市の支援

市も3つの視点で参加します



ひと

- ・ 地域と行政の橋渡し・調整
- ・ 協議会設立準備から設立・運営への参加

拠点

- ・ 活動拠点の検討
- ・ 公共施設等の活用の検討

資金

- ・ 組織運営、事業実施に対する補助金の検討

<事例紹介> 豊田地域コミュニティ協議会準備委員会

令和7年4月協議会設立を目標に活動しています

地域の
機運づくり
・人材発掘

第1回～第3回意見交換会を実施



令和4年から地域の課題の洗い出しや課題解決に向けた意見交換を行ってきました。

地域コミュニティ協議会の
立ち上げ準備
1

準備委員会設立に向けて地域内で協議（検討会）

準備委員会の規約、事業計画、予算の検討
協議会設立に向けた準備委員会設立



令和5年12月から発起人6名で6回集まって打合をを重ねました。

地域コミュニティ協議会の
立ち上げ準備
2

地域コミュニティ協議会設立に向けて準備委員会で協議（準備委員会）

規約・事業計画・予算、試行的な運営・活動の検討

令和6年7月発起人から声を掛け、賛同した41名で準備委員会を設立しました。



今、ここです！

地域コミュニティ協議会の
設立・活動

地域コミュニティ協議会を立ち上げて活動を開始

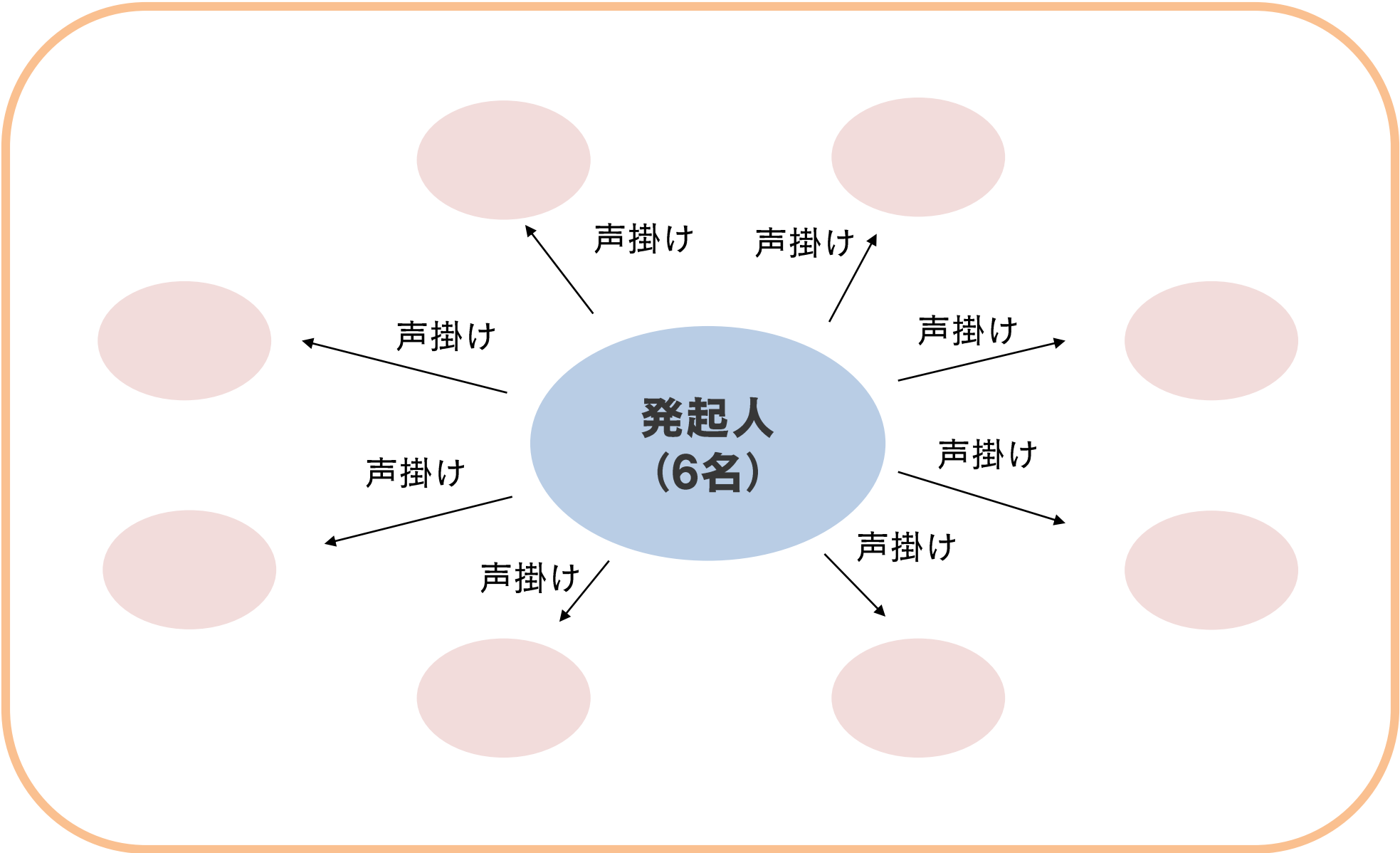
地域コミュニティ協議会設立総会
地域の課題解決のための話し合い・活動の実施



協議会設立に向けた検討及び準備委員会の試行的な活動として、令和7年3月「桜まつりin豊田」開催に向けて話し合いを重ねています。

(1) メンバーの集め方

地域コミュニティ
協議会の
立ち上げ準備
1



準備委員会メンバー (41名)

(2) 準備委員会設立に向けた協議の詳細（令和5年12月～令和6年7月）

地域コミュニティ協議会の
立ち上げ準備
1

日にち	参加者	打合せ内容	人数
令和5年12月19日 ～令和6年4月11日	発起人	第1回～第6回発起人打合せ 第1回：地域コミュニティ協議会設立に向けての説明 第2回：メンバーへの声掛け方法について 第3回：上郷市街地活性化協議会との意見交換会 第4回：準備委員会メンバーの洗い出し、声掛け 第5回：準備委員会メンバーへの声掛け報告、今後のスケジュールについて 第6回：意見交換会の事前打合せ	6名
令和6年4月21日	発起人から 声掛けした メンバー	第1回検討会 発起人から地域コミュニティ協議会設立の必要性を説明し、協議会設立の賛同を得る	37名
令和6年5月24日	発起人	第7回打合せ 組織の名称や準備委員の検討	6名
令和6年6月8日	発起人から 声掛けした メンバー	第2回検討会 組織の名称決定、準備委員の選出、今後のスケジュールについて	30名
令和6年6月22日	発起人	第8回打合せ 準備委員会設立総会の内容検討	3名
令和6年7月28日	発起人から 声掛けした メンバー	準備委員会設立総会 準備委員会規約、役員、事業計画、予算等の承認	31名

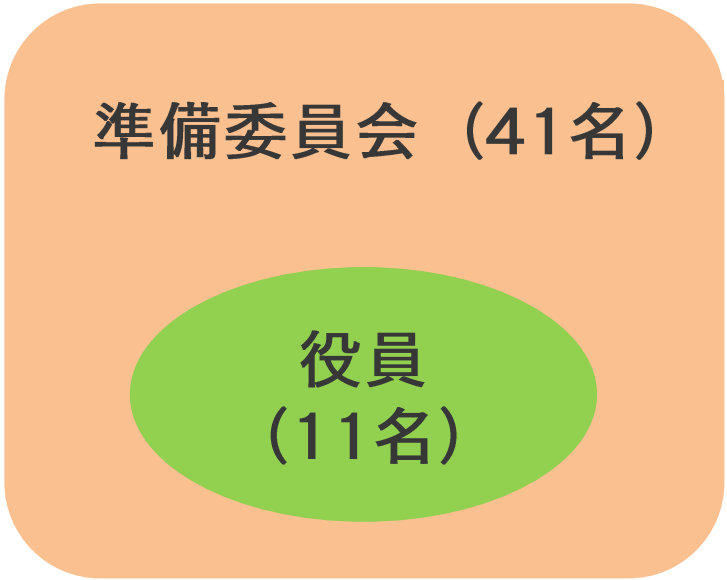
(3) 準備委員会における協議会設立に向けた協議（令和6年8月～）

地域コミュニティ協議会の立ち上げ準備
2

日にち	参加者	打合せ内容	人数
令和6年8月5日 ～9月29日	役員	第1回～第5回役員会 第1回：今後のスケジュール 試行的な活動（桜まつりin豊田）について 第2回：桜まつりの現地確認、内容について 第3回：桜まつりの内容、補助金申請について 第4回：桜まつりの内容、補助金申請について 第5回：桜まつりの内容、補助金申請について	11名
令和6年10月6日	準備委員会	第1回準備委員会 （桜まつりの事業内容について承認）	
令和6年11月13日	役員	元気のみなもと補助金審査会	



<メンバー構成>



04__ 豊岡地区で「地域コミュニティ協議会」設立に向けて動き出してみませんか？

豊岡地区の現状

地域の
機運づくり
・人材発掘

第1回～第5回意見交換会を実施



今、ここです！

地域コミュニティ
協議会の
立ち上げ準備
1

準備委員会設立に向けて地域内で協議（検討会）

準備委員会の規約、事業計画、予算の検討
協議会設立に向けた準備委員会設立

地域コミュニティ
協議会の
立ち上げ準備
2

地域コミュニティ協議会設立に向けて準備委員会で協議

規約・事業計画・予算、試行的な運営・活動の検討

地域コミュニティ
協議会の
設立・活動

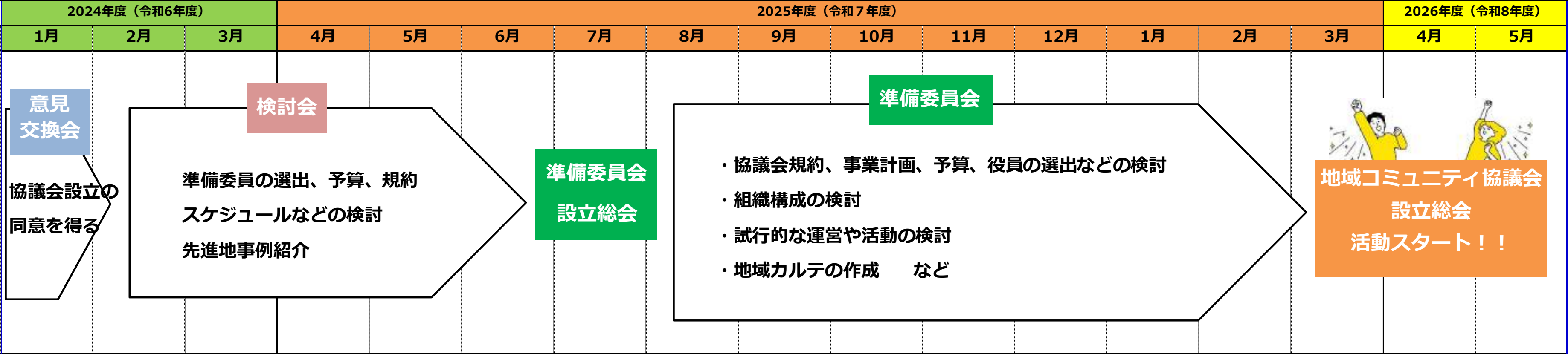
地域コミュニティ協議会を立ち上げて活動を開始

地域コミュニティ協議会設立総会
地域の課題解決のための話し合い・活動の実施



「地域の課題」
「こんなまちに
したい」という
地域の将来への
想いを情報共有
しました。

豊岡地区 地域コミュニティ協議会設立に向けたスケジュール（案）



05__ワークショップ

**地域コミュニティ協議会で活動したい取組み
(=地域ビジョン) を考えてみましょう！**



陽東地区 まちづくりビジョン



私たちが暮らす陽東地区をさらに明るく住みやすいまちにしていけるため、陽東地区まちづくり協議会では3年間で全16回のビジョン策定委員会を開催して地域の課題やその対応策について討論を重ね、ここに「陽東地区まちづくりビジョン」として取りまとめました。

陽東地区 まちづくり 協議会
陽東地区 地域ビジョン 策定委員会

令和2年(2020年)3月

住んでよかった ずっと住みたい このまち 陽東

地域の目指す姿

4. 生活環境の改善

テーマ
課題

- 課題
- 1) LRTによる車・人の動きの変化とそれに伴う騒音・排気
 - 2) 平出工業団地からの臭いや粉じん対応
 - 3) ごみ出しマナーの改善



ごみ出しマナーPR (リサイクル推進委員会)

対応(まちづくり協議会)

- ◇騒音や排気等の問題が生じた場合にはWeb(ウェブ)等で投書を受け付け、必要に応じ、市と協議の場を設け適切な対応を要請していく。
- ◇平出工業団地からの臭気等については、住民からの情報を市へ伝達し、適切な対応を要請する。必要に応じ、工場の見学や排ガスデータ等の提供依頼等を行っていく。

対応(リサイクル推進委員会)

- ◇ごみの分別に関する研修会やチラシの配布等により引き続き住民の啓発活動を実施する。
- ◇新たに「美化評議会」を設置し、ごみステーションの美化100%を目標に活動する。

対応策
(協議会で活動する取組み)

5. 防災

- 課題
- 1) 避難訓練の実効性改善、参加者の拡充
 - 2) 避難所の明示、避難ルートの路上表示
 - 3) 避難情報の周知迅速化、自治会会員以外への呼びかけ
 - 4) 冠水しやすい場所への水深ゲージの設置



災害時避難訓練(防災部会)

対応(自主防災会)

- ◇2019年の台風19号災害の経験を踏まえ、新たに「陽東地区防災計画」を策定し、避難訓練の充実改善や避難所の明示等を進めていく。
- ◇避難情報発令時の連絡網の整備を図るとともに、「防災ラジオ」の普及促進に努める。
- ◇水深ゲージの新たな設置が必要な場所を調査確認し、市と協議していく。

6. 防犯

- 課題
- 1) パトロールの充実強化(パトランの実施)
 - 2) 防犯カメラ・防犯灯の設置促進
 - 3) 子どもの逃げ場としてのコンビニ活用
 - 4) 特殊詐欺の防止



子ども110番看板

地区内夜回り巡回(防災部会)

対応(防犯ネットワーク)

- ◇パトラン(ジョギング兼パトロール)用の夜光タスキを作成し、ボランティア2名が実施中。さらに普及拡充を図っていく。
- ◇各自治会において、市の助成により必要な防犯カメラ・防犯灯の設置促進を図っていく。
- ◇陽東小PTAと連携し、コンビニなどの協力を得ながら「子ども110番」看板設置個所の増設を図っていく。
- ◇特殊詐欺防止のため、高齢者等へPRを推進する。

例

テーマ

対応策（協議会で活動する取組み）

- ・ **防犯防災** : 自主防災組織の充実、防犯カメラの設置、登下校見守り活動 等
- ・ **保健福祉** : ★サロンの場作り、★買い物ツアーの実施 等
- ・ **環境衛生** : ★耕作放棄地の草刈り等を住民同士で行う、既存の公園の整備 等
- ・ **生涯学習** : ★趣味の講座開催、世代交流イベントの実施 等
- ・ **多文化共生** : 多国籍料理教室、交流イベント 等
(※多文化共生…異なる国籍の方がお互いの文化的な違いを尊重し、対等な関係を築きながら地域社会の一員として共に生きていくこと。)
- ・ **情報発信** : SNSを利用した情報発信 等

「桜まつりin豊田」は、桜のライトアップと一緒に、以下の活動を実施予定！

- ・ 防犯防災：ハザードマップや非常食の配付・ランタン作り
- ・ 保健福祉：高齢者の送迎
- ・ 環境衛生：会場の除草、ゴミ拾い

豊岡地区の目指す姿は？

例

ずっと住みたい このまち 豊岡

住民がともに支え合い、明るく活力のあるまち 豊岡

1. 「この地域で暮らすあなたにとって地域で起きているどのようなことに関心がありますか？」

【豊岡地区】

1	地域のつながりの希薄化
2	ゴミ問題（ゴミの出し方等）
3	少子化（子供会への加入減少等）
4	自治会の役員の担い手不足
5	祭りが継続できない
6	買い物が不便
7	高齢世帯、一人暮らしの高齢者の増加
8	道路問題（幅が狭い、舗装が荒れている等）
9	空き家の増加
10	防災について

【全体】

1	地区内のコミュニケーションが取れていない
2	道路の危険箇所、道路の除草
3	ゴミ問題（ゴミの捨て方、産業廃棄物の捨て方等）
4	子供が少ない
5	役員の担い手不足
6	空き家問題（空き家の増加、防犯、火災）
7	買い物問題（お店が遠い等）
8	高齢者の増加、一人暮らしの高齢者の増加
9	公共交通（移動問題、コミュニティバス）
10	祭りやイベントがない、参加者少ない



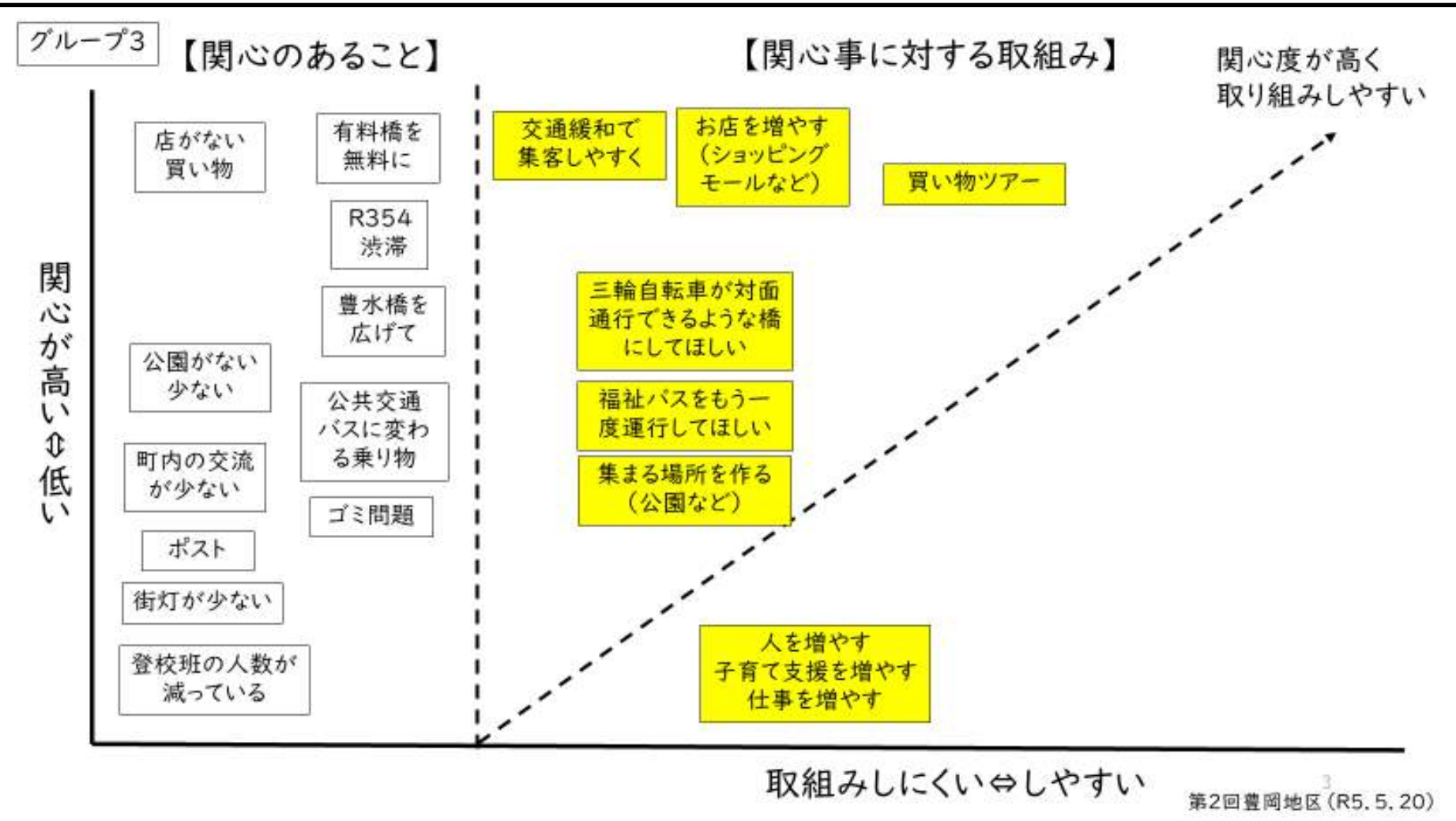
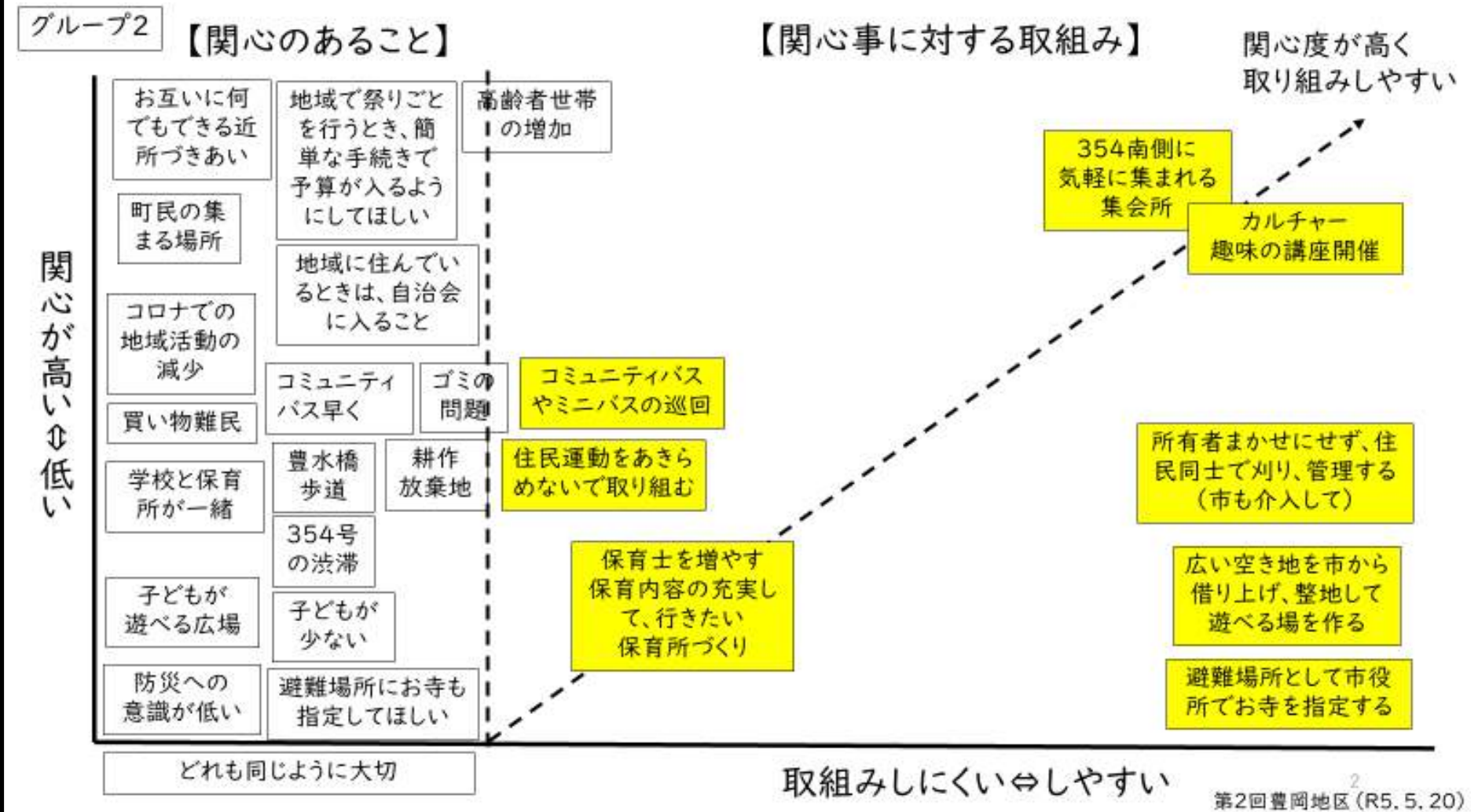
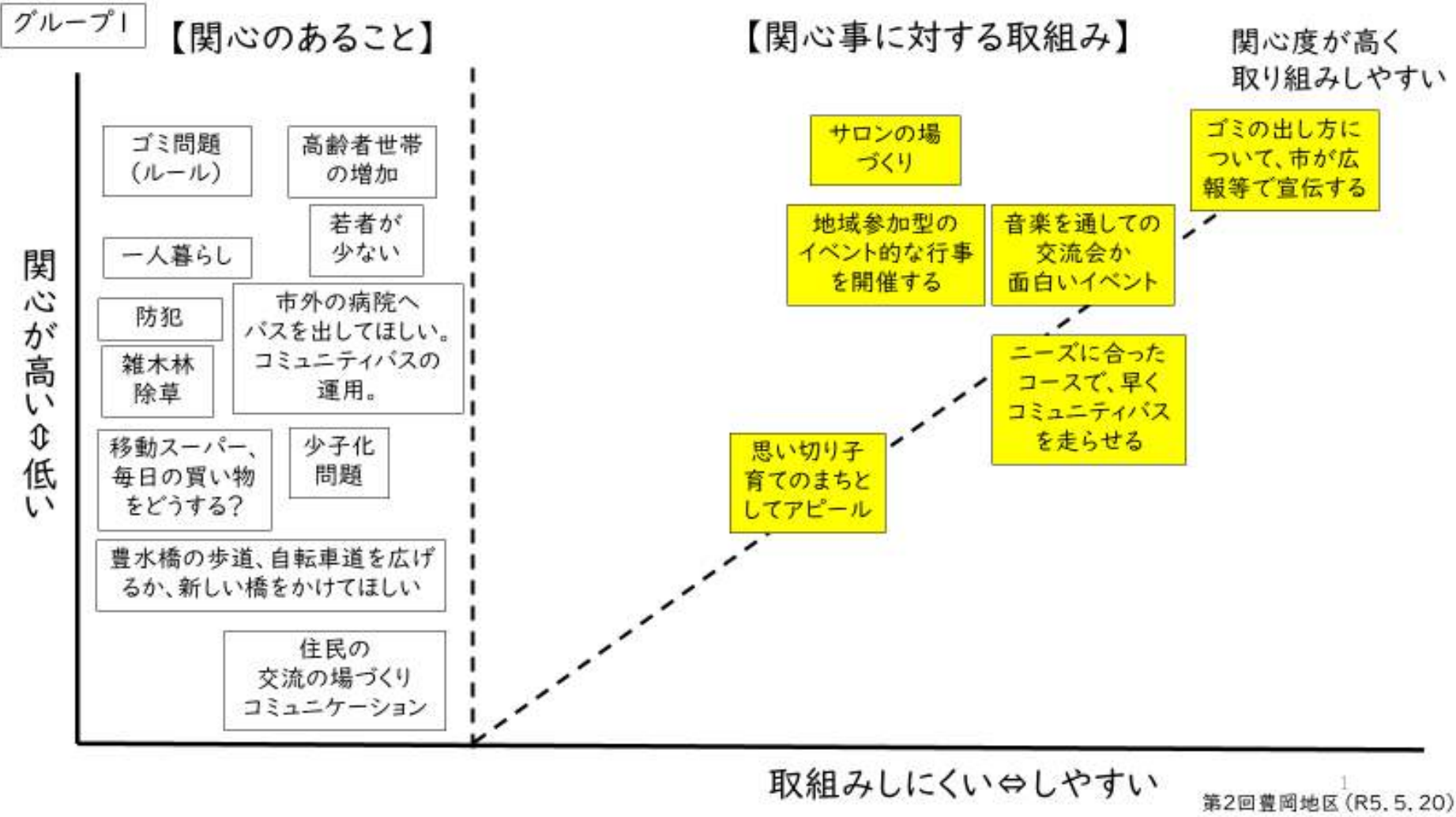
2. 「あなたが暮らしたいまちはどんなまちですか？」

【豊岡地区】

1	コミュニケーションがとれるまち
2	買い物が便利なまち
3	安心して遊べる公園があるまち
4	医療・福祉が充実したまち
5	災害に強いまち
6	公共交通が充実したまち
7	きれいなまち（自然が多く、ごみのないまち）
8	若者を呼び込めるまち
9	観光資源が充実したまち
10	安心安全なまち（事故・事件がないまち）

【全体】

1	地域内でコミュニケーションが取れるまち、つながりがあるまち
2	公共交通があるまち、交通の便がいいまち
3	買い物が便利なまち
4	子供たちが安心して過ごせるまち、子供の元気な声が聞こえるまち
5	医療・福祉が充実したまち、バリアフリーなまち
6	災害時に助け合えるまち、災害に強いまち
7	自然環境が豊かできれいなまち
8	老後も安心して暮らせる高齢者が元気なまち
9	安心して楽しく子育てができるまち
10	お祭りやイベントが楽しめるまち



第2回意見交換会
令和5年5月20日

豊岡地区で活動する組織・団体

- 自治会
- 青少年育成市民会議
- 子ども会
- PTA
- 青少年相談員
- 民生委員・児童委員
- 社会福祉協議会支部
- 生活支援コーディネーター
- 介護予防推進員
- シルバークラブ
- 自主防災組織
- 消防団
- 交通安全協会
- 防犯協会
- NPO法人
- いきいき会
- ひまわり会、ほほえみ会
- 子供を見守る会
- 町内会女性部
- ゴミ集積所組合
- お祭りの会
- 商工会豊岡支部
- 公民館運営委員会
- スポーツ少年団
- なごみの会
- 読み聞かせボランティア（川西地区）

1



グループ1

団体の現状・抱える課題

<いきいき体操>
だんだん人が
集まらなくなった

<子供会>
子供の数が少なく
運営が大変

<自治会>
・高齢化で役員ができない人が増加
・近所づきあいが薄くなった
・ゴミ集積所の管理が困難
・ゴミの分別ができていない

<消防団>
なり手がいない

<自主防災組織>
コロナで人が
集まらなくなった

団体が連携して
取り組んでいること

<子供会+シルバークラブ+婦人会>
どんど焼き

<自治会+サロン>
環境整備(草取り)

<子供会+自治会+まつりの会>
夏祭り

今後、団体が連携して
取り組みそうなこと

<いきいき体操+シルバークラブ>
一緒に活動、周知活動

<子供会+シルバークラブ>
行事を一緒に行う

<消防団+PTA>
周知活動

<自治会+ゴミ集積所組合>
集積所の管理運営

第3回豊岡地区 (R5.9.16)

グループ2

団体の現状・抱える課題

<自治会>
役員のなり手がいない

<なごみの会>
会員のなり手が
少ない

<子供の見守り会>
高齢化が進んでいる

<民生委員>
高齢化が進んでいる

<なごみの会>
役員のなり手がいない
(高齢化が進んでいる)

団体が連携して
取り組んでいること

<自治会+社協>
赤い羽根共同募金

<子供会+シルバークラブ
+女性部>
・夏休みのラジオ体操
・お楽しみ会(流しそうめ
ん、ゲームなど)

<自治会+子供会+シル
バークラブ+消防団>
どんど焼き

<小中学校+自治会>
資源ごみ回収(段ボール等)

<なごみ会+民生委員>
お食事会の参加者の送迎

今後、団体が連携して
取り組みそうなこと

自治区レベルと地区レベ
ルの自主防災組織を統合

防犯協会と
交通安全協会との連携

各団体における現状課題
等の情報交換をすること
で、団体での課題解消の
参考とする

第3回豊岡地区 (R5.9.16)

グループ3

団体の現状・抱える課題

<PTA>
負担が大きい

<子供を見守る会>
会員が高齢で人数も
少なくなっている

<お祭り会>
地元の若い人がいない

<ゴミ集積所組合>
分別のマナーが悪い

集会所の管理
道路の草刈り

団体が連携して
取り組んでいること

今後、団体が連携して
取り組みそうなこと

<自治会+子供会+睦友志会+
女性部+シルバークラブ>
夏の行事(お祭り、流しソーメン)
どんど焼き

<消防団+防災組織>
防災訓練

第3回豊岡地区 (R5.9.16)

グループ4

団体の現状・抱える課題

<自治会>
・高齢化
・役員のなり手がいない
・当番ができない
・ゴミ出しがきつい

<青少年育成市民会議>
・後継者問題
・子供少子化問題

<各種団体>
・同じ人がやってい
る傾向にある
・自分たちの活動の
PR不足

<商工会豊岡支部>
・目立ったイベントがない
・メンバーが活動していない
・メンバー、企画の掘り起こし
・道の駅常総との交流不足

人材は多くいるがなかなか表に出てこない

<子供を見守る会>
・横断歩道の白線
・歩道の赤ポール更新
・警察(他団体)との連
携不足

<防災士連絡協議会>
・出席者が毎回同じ人
・実際参加者を増やしたい
・若い方の後継者づくり

団体が連携して
取り組んでいること

<青少年育成市民会議+子供会
+自治区長班長+民生委員>
・あすなろの里体験学習
・筑波山登山
・もちつき

防犯協会と
交通安全協会との連携

今後、団体が連携して
取り組みそうなこと

道の駅でのイベントで子どもたち、
保護者など関係者メインに参加
⇒横のつながり、若い人の掘り起こし、外部への
PR

大生会主催イベントのようなものを市内小学校で
同じようにできたら
⇒地域のコミュニケーション

<各団体+商工会>
イベント開催(道の駅やあすなろの里)することで
外部へのPRになる

<フィルムコミッション+他地域との観光地>
川つながりの町
例) 浅草、墨田川灯籠流しのイベントを鬼怒川、小貝川とコラボ

<防災士連絡協議会+観光課+外国籍の方>
各イベントとのコラボ
(横つながりのコミュニケーションのため)

<常総市+市民>
市に貢献することを行った人に対して「市民ポイント」。
有償ボランティアにする。

第3回豊岡地区 (R5.9.16)

グループ1

どんな人に意見交換会に参加してもらいたいですか？

- ・各地区の区長
- ・班長
- ・民生児童委員
- ・大学生、専門学生
- ・高校生
- ・中学生
- ・若い方
- ・子育て世代
- ・40代50代の働き世代
- ・子供会の代表
- ・各団体の代表者
- ・各企業の代表
- ・婦人会

その人に意見交換会に参加してもらうにはどうすればいいでしょうか？

- ・区長からの声かけ
- ・区長→班長を集める
- ・意見交換の場を設ける
- ・地域について学んでいる大学と繋がる
- ・中学校へ声かけし参加を促す
- ・地域活動に興味のある学生や部活に声かけする
- ・課題を具体化して、その世代を集める
- ・組合員からの声かけ
- ・各種組織交換の場を設ける
- ・来てくれそうな人ひとりひとりに声をかける

あなたは誰に声かけをしますか？

- ・区長
- ・各種団体の長
- ・民生委員
- ・PTA会長
- ・学校（小・中・高・大）
- ・小・中学校の先生方
- ・NPO法人の代表者
- ・仕事で連携している企業
- ・会社の人
- ・自分の知り合い（友達）
- ・同じ地域の人（地区）

第4回豊岡地区（R6.5.18）

グループ2

どんな人に意見交換会に参加してもらいたいですか？

- ・学校の先生
- ・小学生、中学生のクラブ員
- ・小学生のいる親
- ・30代、40代
- ・幼稚園の保護者

その人に意見交換会に参加してもらうにはどうすればいいでしょうか？

- ・区長が声かけをする
- ・区長主催としてリードする
- ・子供会に声かけをする
- ・イベントを開催する（ラジオ体操）
- ・花火大会、クリスマス等行事

あなたは誰に声かけをしますか？

- ・学校の校長、PTA会長等に声かけをする
- ・子供会に声かけをかける
- ・班長主体→区長

第4回豊岡地区（R6.5.18）

第4回意見交換会
令和6年5月18日